



8月 広報

うらにし 8月号

・夏祭り中止決定

県内の相次ぐ大型イベントの中止決定が報じられる中、浦添でだこまつりも中止となりました。その絡みもあり浦西夏祭りを中止することとなりました。大変残念ではありますがご理解のほどよろしくお願い致します。昨年の“首里城炎上”に始まり、年末年始の“豚熱”発生とその後の“新型コロナウイルス”の蔓延は世界中の脅威にまで発展しており止まる所を知りません。まずは身近の安心・安全の確保が最重要であり、今は自粛することが最良の方法だと思います。酷暑をやりわらげる楽しい懇親の場は来年までお預けとなりますが、その日を楽しみに待ちましょう。



・里道開通 7月27日(月)



にしばる保育園脇の里道の工事が終了し供用開始されました。浦西駅への近道で眺めも最高。さあ、歩いてみよう！

・バス停ベンチ設置



団地西口バス停のベンチが老朽化で使用に耐えず、新しい物に取り替えました。どうぞ、ご利用下さい。

行政区住民登録人口(7月末)

世帯数 727 総人口 1755
自治会加入 399 加入率 55%

定期清掃(第3日曜日) リサイクル活動(同上)

//// 8月行事 /////
* 図書丸来館日 2, 16, 30 日
8日 ふれあいサロン
芝人形作り
10日 自治会対抗ゴルフ大会
16日 定期清掃
23日 評議委員会



・浦西青年会会員 高校総体で快挙 相撲の部で100キロ、80キロ級制覇！

浦西青年会で活動する平良君(G36 平良昇さんの孫)、東黒島君が優勝！青年会活動も積極的に取り組みながら相撲道にも精進する、頼もしい青年に拍手を送ります。

最後に花と気合

100kg級優勝の平良乃希(浦添)の話 決勝は体たぎって当たると心に持った。てんやんで稽古しているが休校中はきき、家で体づくりに励んだ。改め多くの人に支えられて、ことを知った。最後に花を咲かせようと思いを込めた。うれしい。



平良乃希

公式Vうれしい

80kg級優勝の東黒島治将(浦添)の話 公式戦での優勝はめっちゃうれしい。リングではチームメイトの応援も大げさな試合が事業上の決勝だと思いき、気合を入れた。サーキットトレーニングのおかげで初戦からなにかか動いた。



東黒島治将

・評議委員会

7月12日(日) 午後7時～

通常第4日曜日開催ですが、重要案件・夏祭りの実施可否・夏休みラジオ体操の可否を早期に決定する必要があったため前倒し実施。

審議

- ・夏祭りの中止
理由：3密が確保できない、部外者が集まる等
- ・夏休みラジオ体操(小中対象)の中止
理由：上記夏祭り同様

報告

- ・公民館への公衆電話設置
- ・生きいき健康クラブ再開
- ・自治会対抗陸上競技実施予定(10月4日:日のみ)



・浦西納涼夏祭りの中止及び夏休みラジオ体操の中止

コロナ禍により自治会の二大行事の一つで、夏の風物詩・納涼夏祭りの中止が評議委員会で決定されました。何とか実施の方向で検討しましたが、浦添市のでだこまつり(10月18日予定)が中止となったこともあり中止に追い込まれた形です。浦添市内41自治会のほとんどが中止を決定しており開催は困難な状況です。夏祭りは老若男女が楽しめる自治会の夏のビッグイベントです。地域の懇親の場、納涼の場でもあり夏休みで帰省する子や孫とともに楽しめるイベントでもあり中止は残念です。子ども会、青年会の出番が多くて和みと癒しの場でもあります。可愛いらしい子どもエイサー、勇壮な青年エイサーが見られないのも残念で淋しいものです。しかしながら以下の県主催・共催イベント開催可否のガイドライン(*以下参考)に沿う必要があります。これをクリアすることは絶対に無理があることから中止としました。皆様のご理解をお願い致します。なお、青年会のエイサー道ジュネーは旧盆の期間1日だけ行うとのことですので、ご期待ください。

*参考：ガイドライン↓

- 屋内： 100人以下で収容定員の半分以下の参加人数にする
- 屋外： 200人以下で人と人の距離が確保できる

新型コロナウイルス
感染拡大防止対応



・寿 Jr.(ジュニア) 中城ハタ道を歩こう 7月18日(土) 中城南上原～中城城跡 6Km



最近話題の歴史の道・中城ハタ道を17名で歩きました。天気が安定せず、雨、日差しを心配しながらのスタートでしたが、多少の雨と曇りで終わることができました。まさに、山あり谷ありで起伏の激しい山道でしたが、尾根伝いの高台からは勝連半島、知念半島、中城湾が一望でき疲れを感じません。首里城から中城に続く道には数々の歴史が刻まれておりペリーの旗立て岩、アーチ状の石橋等には古(いにしえ)に思いを馳せました。翌日の疲労もありましたが「年一度はこのコースで体力測定」をとの声がありました。

・浦西ゴルフコンペ 初の遠征 第30回大会

毎週第3木曜日午前7時から浦添パブリックゴルフ場でプレイを楽しんでいます。30回を記念して大西ゴルフに場所を移し(初遠征)で行いました。

第30回浦西ゴルフコンペ(大西大会)



難攻不落コースながら中城湾を見下ろす絶景に癒され仲間と楽しい時間を過ごしました。(パー63:34/29)

優勝: 福嶺勝公
成績 44/30 = 74

7月16日(木)

・かりゆしセンター講座 「フルーツ大福作り」

講師は・浦西自治会書記会計の大城美保さんです
今回はコロナ禍で募集人員が少ないので、浦西自治会で機会を作りたいと考えています。乞うご期待!

レンジで簡単「夏のフルーツ大福」講座
今年のお盆はフルーツ大福でおもてなし

日時: 8月5日(水) 午前10時～午後12時【全1回】
受付開始: 7月8日(水)～定員に達する迄
場所: 浦添市かりゆしセンター 調理室
対象: 浦添市内在住60歳以上の方
講師: 大城 美保(浦西自治会書記会計他)
募集人数: 8名 参加料: 700円
服装: マスク着用・エプロン・三角頭巾・手拭きタオル・室内履き・料理ばさみ持参

衛生面・換気等に気をつけ楽しい講座づくりを心がけていますので、お気軽にご参加ください

メニュー
・マスカット大福
・パイナップル大福
・キウイ大福
・バナナ大福
※お持ち帰りもあります

・ネパール便り(続) ～秘境の地・ネパール～ ... 2年間の勤務を終えて... E53-坂本守章(最終稿)

3月23日にJICAとの2年間の契約雇用を終え、日本に戻りました。2回目の契約で、4年間のネパール生活でした。今回は、私が活動している集落について紹介します。バスの乗り換えして2時間、山奥の集落「タトパニ」という集落があります。ネパール語で「タト」は「熱い」の意味で「パニ」は水、「タトパニ」で熱い水の言葉ですが、温泉もタトパニと言っています。集落の近くに川があり、乾季に河沿いに温泉が湧き、住民は温泉で体を癒します。38度程度の温泉で、私も2回温泉に入りました。タトパニ集落はグルン族で構成されています。グルン族は2000mの高地に生活をする族ですが、現在は平地にも下り、ポカ市でも多くの方が生活しています。英国がインドを植民地にした時にネパールにも侵攻してきましたが、グルン族で構成された「ゴルカ兵」によって失敗に終わりました。グルン族は勇猛果敢な民族として名声を得て、現在は英国やインドの軍隊に多くのグルン人が活動しています。集落の近くに日本の技術援助で成功した「ニジマス」が養殖されています(写真1)。養殖のオーナー夫妻は日本に留学し、奥さんは薬学博士を取得し、流暢な日本語を話します。ヒマヤラ山脈の雪解け水で養殖されているニジマスは、高級魚としてネパールで販売されています。値段は800～1,000円/1kg、3匹で1kgが刺身に適したサイズです。活動の帰りに購入し、刺身やバター焼きにして食べていました。帰国2週間前にタトパニ集落の小さな学校を訪問することが出来ました(写真2)。学校は校長先生と3人の先生で、低学年(日本の1から3学年)の8人の生徒が通っています。日本の教育制度とは異なり、落第もあり、3年生に体の大きな生徒もいました。農繁期には家の手伝いが優先で、学校に来なくなり勉学が遅れるのが悩みだと校長先生は話されていました。訪問の目的は子供達への勉強教材の提供で、事前に先生方から不足している教材のリストを聞き、文房具店で購入し、生徒達へプレゼント致しました。アジアで最貧国と言われているネパールですが、現地で生活していると貧しい国と感じたことはありませんでした。食べ物は豊富で小さなカフェでもWiFiが設置され、必要な情報は瞬時に検索も出来ます。ただ、「おはようございます」は「カナカマ バヨ」と言い「食事しましたか?」の意味です。その言葉で貧しい時代の生活を感じられました。再びネパールを訪問する日はいつだろう? 大地震で経済が混乱し、回復しつつあるネパールを見ながら機中の人となりました。



*リサイクル収益金
7月末実績(累計)
21,560円



公民館倉庫へ持込下さい。
対象はアルミ缶のみです。
(中身を空にして出して下さい)

・公衆電話設置 7月13日



待望の公衆電話が公民館広場に設置されました。レトロな存在ですが、どうぞ、ご利用下さい。
←自販機の隣

ペットのフン
放置しないで

飼主が責任を持って
持ち帰ってください